

かくれキニシタン

声をあげる10年目の福島



11/16日

13:30 開場

13:45 「かくれキニシタン」上映

15:15 関監督オンライントーク

15:45 やましろ保養の家紹介と利用者さんの声

16:00 守り育てる会総会

参加費500円

コロナ禍で保養が激減する中、
それでも福島から保養へ出かける人
たちがいた。
事故から10年経った福島のいまと、
声をあげる人たちを追った
ドキュメンタリー。

奈良市北部会館 多目的室 I

近鉄 高の原駅から徒歩3分

私たちは誰とどんな社会で暮らしたいのだろう



【公開日】2025年3月14日

【上映時間】70分

【監督】関久雄

【製作】

特定非営利法人ライフケア

【撮影】

佐藤広一/今野寿美雄/大野沙亜也

福島のあるお母さんはこう言った。

「普段は、放射能なんて気にしていませんよという顔をされていて、
休みになると黙って保養に出かけます。
だから私は、「隠れキニシタン」なんです」

● 京都やましろ保養の家とは

震災における原発事故により日常生活に放射能の影響を受けている福島やその周辺地域に住む子どもたちと家族に、自然豊かで安心できる環境でゆっくり過ごし、心と身体を癒していただくための「みんなのおうち」です。

1年を通じて、ご家族で利用できます。利用料は無料、3泊4日以上利用の場合、新幹線利用の半額程度の交通費補助をしています。

新型コロナが流行した期間は利用が落ち込み、活動も停滞していました。2024年には利用が回復し、夏以降1年間で9件、合計56日間、33人の方に利用していただきました。震災後に出産された方やリピーターなど根強い需要があります。この間、寄付を募る活動もできず、現在、財政的に逼迫しつつあり、活動が続けられるか危機的な状況にあります。

やましろ保養の家を守り育てていくために、映画「かくれキニシタン」の上映と関監督のオンライントークを企画しました。みなさま方も是非、福島の放射能の問題とそこに住んでいる方たちの声を聞いてください。



会場：奈良市北部会館
3階 多目的室 I

近鉄高の原駅改札を出て右折、
橋を渡ったら直ぐ左折、
正面にあります

主催：京都やましろ保養の家を守り育てる会

